

広報かみいち総合病院

第48号 令和5年(2023年)2月発行



編集・発行 かみいち総合病院 広報委員会
〒930-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51番地
TEL.076-472-1212 FAX.076-472-1213
E-mail:kanri@kamiichi-hosp.jp
URL:https://www.kamiichi-hosp.jp/



御挨拶

院長 浦風雅春

新年あけましておめでとうございます。

令和5年(2023年)元旦は積雪もなく、皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年の令和4年も令和3年に続き、新型コロナウイルス感染症に終始した一年でした。昨年は当院でも病棟でのクラスターが発生しましたが、感染管理チームと各部署のスタッフの適切な対応により、感染拡大を最小限に食い止められたと思います。幸いにも患者様は重症化せず、回復しており、対応していただいた職員には大きな負担をかけることになりましたが、よくがんばっていただいたと感謝します。本当にありがとうございました。令和元年末から始まった新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息にはいたっておりません。患者様、ご家族の皆さまには、感染予防対策の一環として、入館時の検温・手指消毒・マスク着用、面会制限等、たいへんご不便をおかけしているところではありますが、当面は現行の対応を継続することになります。今後ともご理解・ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症は、いずれ日常のウィルス感染症として扱われるようになる時が到来すると想定されますが、感染予防対策は普遍的なものであり、今後も引き続き、職員全員で感染予防対策を実践・徹底し、安全・安心な医療を提供してまいります。

当院の再編統合問題に関しましては、これまでの当院での取り組みが評価され、昨年9月に開催された富山医療圏の地域医療構想調整会議において、決着が図られました。今後も当院は地域密着型の病院として、治す医療(急性期・亜急性期)から支える医療(回復期)まで、切れ目のない「治し支える医療」をこれまで以上に患者様に提供し、近隣の医療機関・介護福祉施設や行政との連携をさらに強化してまいります。

病院経営に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、収益の悪化を想定していましたが、職員全員の大変な御尽力のおかげで、令和2年度(2020年)

に続き、令和3年度(2021年)も黒字決算を達成することができました。特に令和3年度は、コロナ病床確保の補助金を除いても黒字決算となっており、職員の皆様には深く感謝申し上げます。今後も黒字決算が達成できるよう、全職員が一丸となってがんばっていききたいと思えます。

診療体制に関しましては、乳がん先端治療・乳房再建サテライトセンター、上市・地域医療支援学講座の開設に続き、富山大学附属病院との医療連携協定が締結され、当院の診療体制としては、より充実されてきたと思っています。ただ、昨年10月からは、諸般の事情により、当院での分娩を停止することになったことは、誠に残念なことではありましたが、今後も産科診療は継続し、産前・産後ケアを充実させていきますので、皆様方のご理解をいただきますようお願い申し上げます。また、昨年10月に赴任された整形外科高嶋先生を中心に、骨折リエゾンサービスチームをたちあげました。これは、大腿骨近位部骨折患者様に対し、多職種連携による早期からの骨粗鬆症診断・治療開始、継続治療による二次性骨折予防を行うことを目的としており、町内の歯科の先生方とも連携して取り組んでいく事業になります。今後も、現状の病院機能をさらに充実・拡大し、地域医療により貢献していきたくと考えております。

ロシアのウクライナ侵攻など世界情勢も混沌とし、新型コロナとの戦いもまだまだ続きます。病院経営もいまだ厳しい状況ですが、病院の理念と基本方針をもとに、日々の業務を着実に遂行し、医療を通して住民が安心して生活できる地域づくりに貢献し、規模は小さくても地域に必要な病院として、永く維持・発展できるように、診療部、看護部、診療技術部、事務局の病院全体が一体となり、全職員が一丸となってがんばっていく所存であります。引き続き皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

むすびに、令和5年(2023年)が新型コロナ感染症終息の年になることを願い、今年も皆様全員が健やかに生活し、皆様にとりまして、より良き一年になりますことをご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

医科歯科連携『かみいちモデル構想』

～骨粗鬆症治療と健康な口腔の維持を目指して～

整形外科医長 高嶋 勇人



『骨粗鬆症』という言葉が皆さまお聞きしたことがあるかと思います。どのような病気かといわれますと骨が脆くなり、骨折の危険性が高い状態ということになります。では、その病態はどのようなものでしょうか？

ひとつは骨の工場に問題が生じている場合です。骨は骨を新たに作る方法（モデリングといえます）と骨代謝といって骨形成（作る）と骨吸収（破壊）を繰り返すことで新たな骨に生まれ変わる（リモデリングといえます）2つの作用で作られます。

リモデリングの際に、骨形成が少ない（骨を作る量が少ない）もしくは骨吸収が亢進する（骨が多く破壊される）と骨密度は少なくなります。特に、骨吸収が亢進しているケースが多く、骨吸収抑制薬という薬が治療に使用されることになります。

全身の骨吸収を抑えて既存の骨を残す効果があります。骨折予防としては優れているのですが、一方で副作用として『顎骨壊死』という病気があります。

口腔内には常在菌があり、唯一骨と近接した場所に細菌がいるといっても過言ではありません。顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016という治療ガイドラインのようなものが日本にありますが、そこには『骨吸収抑制薬の投与を受ける予定患者の歯科治

療すべての歯科治療は骨吸収抑制薬開始前の2週間前までに終わっておくことが望ましい。』と明記されています。しかし、現状では日本の多くの病院やクリニックでその旨をお伝えすることなく骨吸収抑制薬の処方や注射が行われているのです。

顎骨壊死の発生頻度は10万人当たり数十人程度と比較的低いのですが、高齢に伴う歯科受診率の低下や無症状もしくは症状があってもこんなもんだらうと様子を見ているケースが多いからと言われております。軽症であれば抗生剤治療で済むケースもありますが、壊死した『腐骨』を除去する治療になると、歯が植立している土台がなくなるわけです。つまり、建物で例えると、建物が残ったまま基礎を削るのと一緒に倒壊する危険性があります。

そうなると、噛むという行為が難しく、人生の楽しみであり健康の中心になっている食事摂取ができなくなります。

骨粗鬆症は『食事、運動、薬物療法』の3つの柱がうまく機能して初めて骨密度上昇につながると言われておりますが、治療のための薬で1つの大事な食事を奪う可能性があります。

そこで、当院は上市町で開業されている5つ全ての歯科医院と医科歯科連携し、骨吸収抑制薬開始前の歯科スクリーニングを2023年1月19日より開始しました。

全国的にも近隣の歯科と総合病院が連携した歯科スクリーニングの取り組みは珍しく、上市町を『ロールモデル』として富山県、全国へ発信していく予定です。

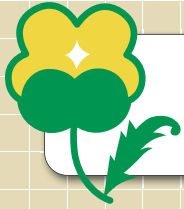
ぜひ当院に来院されている皆さんで『骨折予防とおいしく食べられる生活』を実践し、世の中へ広めていきましょう。

基本理念

「住民が安心して地域で暮らし続けるための医療の砦として私たちの病院が存在する。」

基本方針

- 1 患者さんへの思いやりを第一とし、患者さんの尊厳と権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに患者さんと共に創出する医療を提供し、患者中心の全人的医療を行います。
- 2 職員一人一人が「病院の顔」であることを自覚し、医療倫理を守り、真摯な態度で医療に取り組むことで安心・安全・良質な医療を行います。
- 3 専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽を重ね、知識・技術・医療水準の向上に励みます。
- 4 全ての職種が互いに信頼し協働して、多職種連携による充実したチーム医療を行います。
- 5 地域の基幹病院・在宅療養支援病院として医療・福祉・介護・保健分野と連携を促進し、地域包括ケアシステムの一翼を担う地域完結型医療を目指します。
- 6 住民との交流イベントや啓蒙活動を通じて、地域住民の健康増進と町づくりに貢献する地域に開かれた病院を目指します。
- 7 職員が働く喜びと誇りを持ち、安心して働ける充実した職場環境を整備し、明るい病院づくりと人材育成に力を入れます。
- 8 自治体病院としての公共性を担いつつ、経済性を考慮した健全で効率的な病院経営に努めます。



地域に広げよう!優しさを伝える技法 ～ユマニチュード～



◇ユマニチュード導入の背景

かみいち総合病院は、地域の皆様が住み慣れた場所で安心して医療を受け、「その人らしく」その生を全うできる、そんな地域医療に貢献したいと思っています。高齢者や複数の慢性疾患を持つ人、終末期の人に寄り添い、これらの人々を支援するためには、そのための専門知識と技術が必要です。そうした中、誰もが学びやすく、実践しやすい認知症ケアの1つとして注目されているのがユマニチュードです。

ユマニチュードとは、人と人との関係性に着目したケア技法で、「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱からなります。

◇ユマニチュード推進委員会を設置して、病院全体でワンチームとして活動

かみいち総合病院では、全職員にユマニチュードを推進するため、令和5年1月4日に浦風院長をリーダーとして、医師・看護師・薬剤師・セラピスト・放射線技師・事務職等で構成されたユマニチュード推進委員会を設置しました。



◇ユマニチュードを推進していくための技術を学びました

令和5年2月7日から2月10日まで、6名の看護師がユマニチュード4日間実践研修を行いました。ユマニチュード認定インストラクターから、ユマニチュードの哲学、関係性とコミュニケーションの技法の他に、ユマニチュードのアプローチを推進していく技術を、患者さんのケアを通して学びました。

◇ユマニチュードの技術を普及・推進するために

病棟、外来、在宅など場所や療養環境を問わず、あらゆる年代の方々にこのケアが届くよう毎日実践に取り組んでいきたいと思っております。そして、当院だけにとどまらず地域へ広まっていくことが願いです。

健診センターからのお知らせ

子宮・乳房
合計人数
148人

令和4年度 土曜日レディース 健診受診状況報告について

7月～11月の第2・4土曜日 8:30～12:30

子宮 検診予約

頸部のみ… 40件
頸部+頸体部… 87件

実施数 計 **116件**

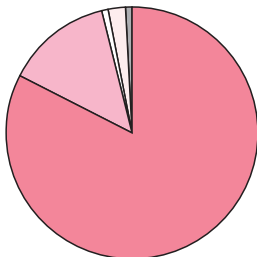
乳房 検診予約

MMG1 方向… 24件
MMG2 方向… 104件
(乳線エコー) (78) 件

実施数 計 **213件**

【アンケート集計】 30代…7人/40代…21人/50代…53人/60代…34人/70代以上…20人

質問1 感想



■ 良かった… 110人
■ やや良かった… 18人
□ どちらでもない… 1人
□ やや悪かった… 3人
■ 悪かった… 1人

質問2 子宮がん頻度

毎年かほぼ毎年… 89人
2年に1回 … 9人
時間がある時… 9人
心配な時… 5人
その他… 2人

質問3 マンモグラフィ頻度

毎年かほぼ毎年… 85人
2年に1回 … 9人
時間がある時… 7人
心配な時… 3人
その他… 7人

質問4 乳房超音波検査を受ける理由

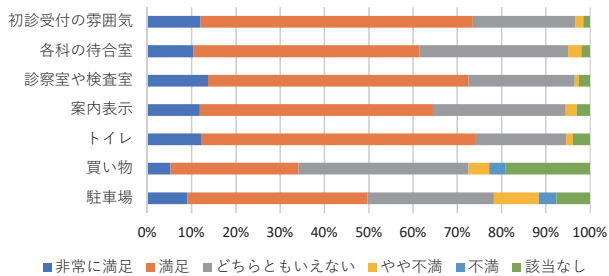
乳がんが心配… 58人
血縁に乳がん… 8人
マンモのついで… 13人
医師から推奨… 7人
高濃度乳房の為… 5人
受けると安心… 30人
その他… 3人

【お問合せ先】かみいち総合病院 健診センター 直通TEL076-472-5136

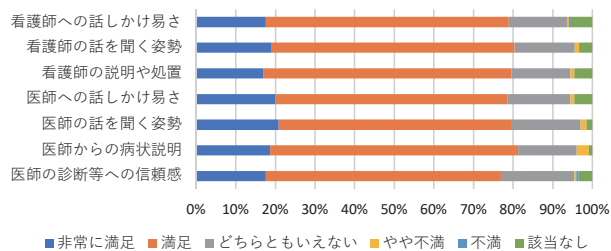
※お問合せ・ご予約等は午後2時から午後4時までをお願いします。

令和4年度外来患者満足度調査

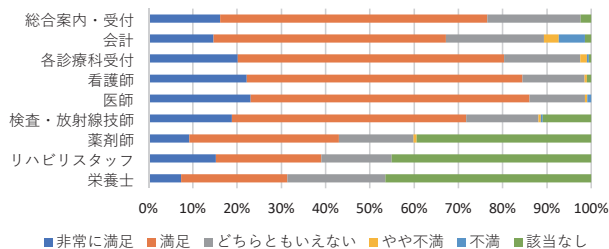
設備



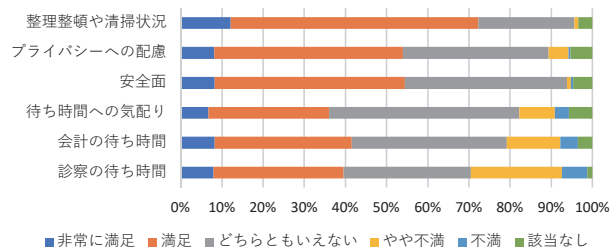
診療



接遇



サービス体制



当院の助産師が、不安でいっぱいのお母さんをサポート

【予定しているサービスの提供方法】

- ・助産師が母子のご自宅を訪問して実施するもの
- ・当院等へお越しただいて実施するもの

【予定している内容】

- ・母親の心と身体のケア
- ・授乳の相談（乳房ケアを含む）
- ・育児に関する相談
- ・赤ちゃんの全身状態の観察
- ・休養できる場所の提供

…などを考えています

かみいち総合病院は
上市町とつしよに
産後ケアを始めます



※現在、詳細を上市町福祉課と検討中です

患者サポート相談窓口のご案内

相談を希望される方は…
 窓口 ● 患者サポート相談窓口（北館1階）
 受付日 ● 月曜日～金曜日（外来休診日・年末年始を除く）
 時間 ● 8:30～17:15

当院担当職員が相談内容に対応いたします。

※窓口以外にも、電話や投書箱、E-mailでもお受けいたします。
 E-mailアドレス kanri@kamiichi-hosp.jp

相談内容

- 診療内容について
- 転院・施設紹介について
- 医療費・福祉制度について
- 個人情報・情報開示について
- 医療安全について
- 主治医以外の医師の意見（セカンドオピニオン）
- ご意見・ご要望 その他



お問い合わせ先 かみいち総合病院 患者支援相談室
 電話：076-472-1212（代表）

職員募集

期間に定めのある職員を募集しています。

職種：

看護師、助産師、
 薬剤師、看護補助者、
 管理栄養士、理学療法士、
 作業療法士、医療メディエーター



お問い合わせ先

電話：076-472-1212 担当/総務課 人事担当